

2024年度（一社）鳥取青年会議所

総務渉外委員会委員長 所信書

委員長 時岡 真也

1 もし何も制限がなかったら、あなたはどうなりたいですか。私たちは大人になるにつれ、
2 また時代と環境が変化していくにつれ、様々な制限を自ら課してきました。当然組織や社
3 会で活動していく為には認識を合わせる為のルールが存在し、青年会議所は「クリード」
4 「3信条」「綱領」といった不変的なものから、「JC宣言」「ミッション」「ビジョン」「スト
5 ラテジックプラン」のような可変的なものが該当します。しかし他にも多くの制限を自分
6 で課しています。私たちの判断軸は情報の質で決まり、多くはこれまでの経験値によって作
7 られていると考えます。だとすれば、経験することがより良い判断軸を作り出し、制限を
8 突破していく鍵の一つです。そして経験する決断をするか、しないか。やりきるコミット
9 をするか、しないか。これは冒頭に述べた、もし何も制限がなかったら、あなたはどうな
10 りたいですか。という、自らの願望を明確にし、強く強く実現を願う事であると考えます。
11 私は2015年入会以降たくさんの経験をさせていただきました。これまでも、これから
12 も成長の機会をいただけるこの組織、メンバー、OB、協力関係者をはじめ、因幡地域の
13 皆様に心から感謝しています。私が思い描く委員長像は、感謝に生きるリーダーです。委
14 員会メンバー一人ひとりの願望を対話から引き出して、個を輝かせる後押しをしていく。
15 そして個と組織を結び、ひいては組織と因幡地域を結ぶ。総務渉外委員会委員長として、
16 感謝に生きるリーダーとして、縁の下の力持ちでありたいと思います。